

斐川環境学習センター(愛称「アース館」)を 紹介します！



斐川町出西にある「斐川環境学習センター」は、出雲市の環境学習の拠点施設のひとつです。

このセンターは、昭和4年に建築された旧出西小学校の建物を活用しており、昔懐かしい木造校舎に触れることができます。

坪田愛華さん メモリアルホール



環境問題を得意なマンガでまとめた「地球の秘密」をのこして、12歳で急逝した坪田愛華さんに関する展示をご覧ください。



工房室

工作台や調理実習台があり、工作体験やエコッキングなどの体験学習に利用できます。



実習室

環境学習講座や研修などに利用できます。

ほかに…

交流室

環境関係の会議などに利用できる和室です。

体験室

横糸に布を裂いたものを織り込んだ「裂き織り」の作品づくりが見学できます。

～環境学習センターご利用のご案内～

使用料

工房室・第1実習室・第2実習室・交流室：1時間あたり250円

- 1時間に満たない端数は、1時間として計算します。
- 冷暖房を使用される場合は、1時間あたり125円が加算されます。
- 各種環境講座に参加される場合は、別に参加料・材料費が必要な場合があります。(環境講座の開催予定は、この「広報いずも」に毎月掲載しています。)

※ご予約・お問い合わせは、斐川環境学習センター(☎72-5242)までお願いします。

**見学無料！
お気軽に
お立ち寄り
ください。**

開館から10周年を迎えました！

7月14日(日)、開館10周年を記念する式典が開催されました。

この日は「アース館まつり」も開かれ、さまざまな催しが行われました。



おたずね／環境政策課 ☎ 21-6987

「再生可能エネルギー」について考えてみよう！

おたずね／新エネルギー推進室 ☎ 21-6541

第9回 バイオマス活用推進プラン策定&中小水力発電調査結果

今回は、今年6月に策定した「バイオマス活用推進プラン」と昨年度に実施した「中小水力発電調査」の結果概要を紹介します。

1.「神話の國出雲バイオマス活用推進プラン」の概要

(1) 利用(リサイクル)の現状

バイオマス	現 状	課 題	今後の取組
林地残材	ほとんど未利用	搬出コスト高	(2)参照
廃食用油	軽油代替燃料の製造	製造コスト高、需要量減	利用方法の検討
食品廃棄物	ほとんどをエネルギーセンターで焼却し発電	ガス化発電、飼料化等の段階的な利用の未検討	次期可燃ごみ処理施設の整備 検討の中で利用方針等を検討 (メタン発酵等)

(注)家畜排せつ物、製材残材、せん定枝、刈草、下水・し尿汚泥、稲わら、もみ殻はほとんどを利用。

(2) 今後の具体的な取組

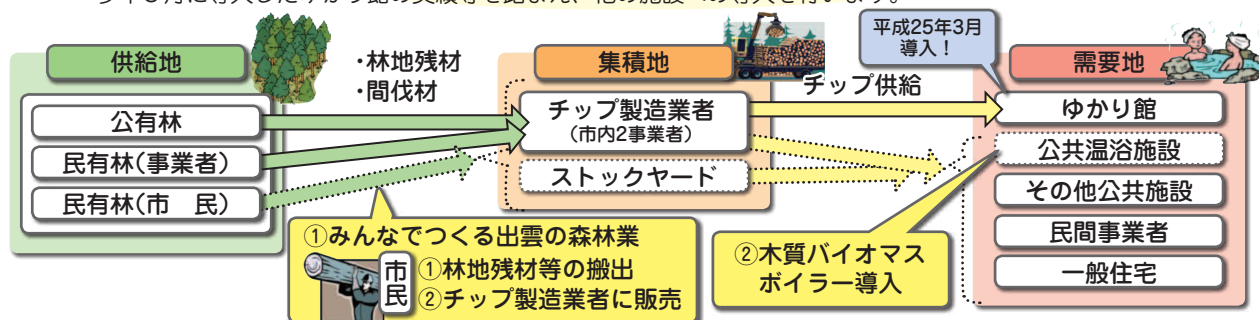
林地残材はほとんど利用されていないことから、次の取組を実施して利用量の向上を図ります。

①みんなでつくる出雲の森事業（林地残材搬出事業）

森林の適正管理とバイオマス資源の利用を図るため、安全研修会の開催、搬出経費補助など市民参加による林地残材搬出の仕組みを導入します。

②木質バイオマスボイラー導入

今年3月に導入したゆかり館の実績等を踏まえ、他の施設への導入を行います。



2.「中小水力発電事業化可能性調査」の結果

市が管理する河川、農業用施設等を対象に既存資料等から236地点を抽出し、この中から導入可能性の高い10地点の選定を行い、採算性の検証を実施しました。

【調査結果】

- ◇ 水車の設置費用を全額借入で賄う場合（補助なし）は、全地点で赤字。
- ◇ 補助金を活用する場合（補助あり）は、最も採算性のある稗原ダムのみがわずかながら黒字。
- ◇ 流量が多く、有効落差を長く確保できる地点がないため、発電出力が小規模にならざるをえず、また、設置費用が割高であるため、事業化が可能と考えられる地点は確認できなかった。



現地調査を実施した「来原岩樋」
～大津町上来原～

【発電出力が大きい上位5地点】

地点名	発電出力 (kW)	設置費用 (万円)	20年累積収支(万円)	
			補助なし	補助あり(1/2)
ひえばら 稗原ダム(野尻町)	10.0	4,064	▲359	+162
まきいわ 馬木岩樋(馬木町)	5.0	1,509	▲998	▲738
しゅっさいとうしゅこう 出西頭首工(斐川町出西)	4.2	5,916	▲6,879	▲5,861
宮本川(多伎町奥田儀)	2.0	824	▲316	▲187
くりはらいわ 来原岩樋(大津町)	1.2	1,003	▲955	▲782

プランや調査の詳細は、
市のホームページに
掲載されているよ！

